

## 地域との協働による高等学校教育改革推進事業(プロフェッショナル型)

### 生活文化の伝承と多世代交流 共生のまちづくりに貢献する人材の育成

- ・生活文化の継承
- ・生活産業の振興や多世代交流

地域の生活産業・生活文化

はだか麦

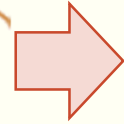
椿文化

魚食文化

まちかど家庭科室～ふらっと～

#### 1年次

地域の生活産業・  
生活文化を知り、  
課題を考える



#### 2年次

地域の生活産業・  
生活文化を研究し、  
課題解決を図る



#### 3年次

地域の生活産業・  
生活文化を広め、  
地域に貢献する



- ・地場産業見学
- ・SDGsと地域課題について学習
- ・地域人材を生かした学習活動
- ・多世代交流

- ・椿、魚食、はだか麦×特産品の研究
- ・学校給食メニューの開発と提供
- ・伝統産業研修
- ・まちかど家庭科室～ふらっと～開催

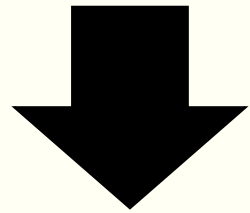
- ・商品開発、オリジナルレシピの提案
- ・コンクールでの入賞
- ・魚食弁当の開発と提供
- ・まちかど家庭科室～ふらっと～開催

新たな価値を創造し、主体的に行動する力

# 愛媛県立小松高等学校 カリキュラム開発に係る成果・課題等

カリキュラム開発等専門家  
→ 元家庭科教員

(西条市在住、本校勤務経験有り)



- ・カリキュラム開発
- ・SDG s 学習
- ・地域理解学習

情報提供  
指導助言

月3回程度  
1回約2時間の勤務



SDGs学習

令和元年10月



伝統産業研修

(四国中央市)  
令和3年1月



伝統産業研修

(今治市)  
令和3年7月



伝統産業研修

(今治市)  
令和3年7月

# 愛媛県立小松高等学校 カリキュラム開発に係る成果・課題等

## 1学年

- 家庭総合(4)
- 生活産業基礎(2)

- 家庭総合(3)
- 生活産業基礎(3)

## 2学年

- 課題研究(2)  
職業資格の取得  
分野別研究A  
分野別研究B

本研究

椿  
はだか麦  
魚食

## 3学年

- 課題研究(2)  
職業資格の取得  
分野別研究C  
分野別研究D

本研究

○少人数でのグループ活動

○従来通り、資格取得に取り組みながら研究

# 愛媛県立小松高等学校 カリキュラム開発に係る成果・課題等

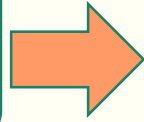
## 年間計画の作成

- ・ 3 学年分の計画
- ・ 効率よく研究、すみ分けができた。

2年4組								
活動時期	日	課題研究(2単位)			【学校設定科目】 ライフデザイン (2単位)	フードデザイン (2単位)	子どもの発達と 保育(2単位)	
	4月	15	オリエンテーション・1年次の振り返り 2年次に挑戦したいこと[企画]					
22		グループ研究①A ポン菓子 [企画]	グループ研究①B 椿のステンシル	グループ研究①C 魚の知育教材	椿の花びら収穫 椿で染色 椿のシロップ		椿の折り紙	
6		〃	〃	〃			椿文化普及児童文 化財 [考案]	
5月	13	椿の水引を作ろう！				魚食研究	13 講義④水引細工	
	27	グループ研究①A ポン菓子 [企画]	グループ研究①B 椿のステンシル	グループ研究①C 魚の知育教材			27 延期	

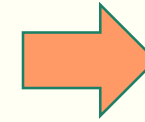
# 愛媛県立小松高等学校 カリキュラム開発に係る成果・課題等

ルーブリック



ポートフォリオ

自己評価記録用紙



アンケート

三菱UFJリサーチ&コンサルティング

## 家庭科 ルーブリック評価

学習成果		S (4)	A (3)	(1)
評価項目				
①	課題を発見する力	感じた疑問をいろいろな立場や方向から考えを深め、新たな疑問をたどることができる。	感じた疑問を探究の過程に則って、論理的に考えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教員の評価の公平性</li> <li>・ 生徒へも発信</li> </ul>
②	資料収集力	必要に応じて資料を収集し、整理することができる。	必要な情報・データを調べた時間の収集し、整理することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒への個別指導</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>③ 発表する力</li> <li>④ 段取力</li> <li>⑤ 協働する力</li> <li>⑥ 技術力</li> <li>⑦ 自己評価力</li> </ul>		日常生活で「なぜ？」を感じることができる。
				課題を収集、整理することができる。
				日常生活に関するデータを収集することができる。

# 愛媛県立小松高等学校 カリキュラム開発に係る成果・課題等

## 学校マニフェスト

令和2年度

一部抜粋

- |   |      |
|---|------|
| (1) 豊かな心・温かい人間関係の育成                                     | 『篤敬』 |
| ア 挨拶の励行と適切な言葉遣い   |      |
| イ 自ら積極的に取り組む清掃活動  |      |
| ウ 互いに認め、支え合う仲間づくり                                       |      |
| エ 積極的な <b>多世代交流</b> 及びボランティア活動の推進                       |      |
| (2) 確かな学力の定着・向上と進路実現                                    | 『勉学』 |
| ア 分かる授業で学力向上  |      |
| イ 家庭学習の充実   |      |
| ウ 各種資格取得の奨励   |      |
| エ <b>地域課題を解決する多様な力の育成</b>                               |      |
| (3) 社会性・たくましく生き抜く力の養成                                   | 『鍛練』 |
| ア 部活動の充実  |      |
| イ 5分前行動の励行と年間出席率の維持                                     |      |
| ウ ルール厳守とマナー向上による交通事故ゼロ                                  |      |
| エ 生徒主体の生徒会活動・家庭クラブ活動・委員会活動の活性化 <b>及び地域との連携による協働性の育成</b> |      |

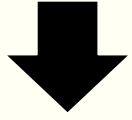
## 他教科との連携

教員によるワークショップ

令和2年2月



## 地域協働学習実施支援員



- ・ 学習で得た知識、技術を発揮する機会の提供
- ・ 外部との連携調整
- ・ 多世代交流実施
- ・ 広報
- ・ 指導助言

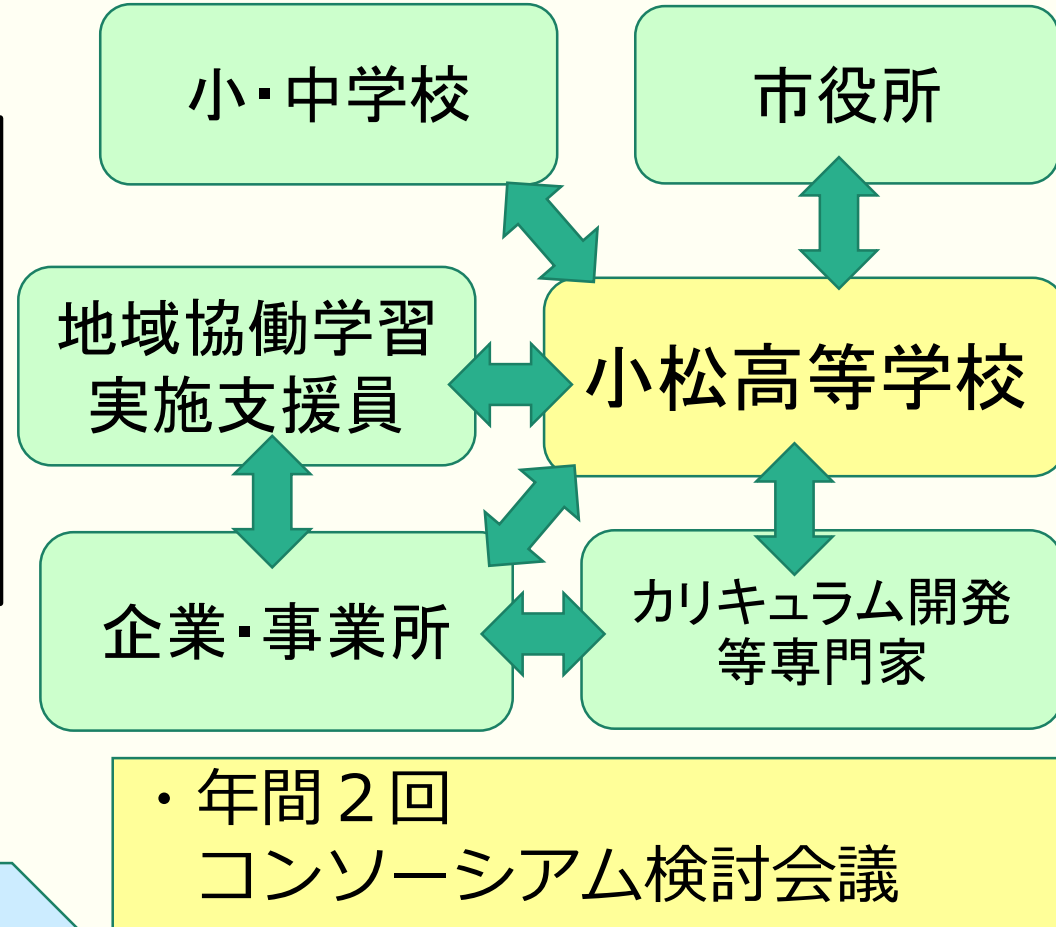
月3回程度

1回約2時間の勤務

## 課題

- ・ 大学や短期大学との連携が進まなかったこと。

## コンソーシアム



多世代交流:小松未来塾  
令和2年8月



はだか麦クッキー講義  
令和2年11月

## 外部講師による講義

青字はコーディネーターによる  
赤字はコンソーシアム関係機関による

1年次

- ・ 椿文化(小松つばき会)
- ・ はだか麦(東予地方局)
- ・ 魚食文化(漁協)
- ・ 地域課題学習(西条市)
- ・ SDGs(新居浜KITE)
- ・ 発酵食品講義(婦人会)
- ・ パン作り(店主)



商品開発: 飲食店社長  
令和2年10月

2年次

- ・ 学校給食(栄養教諭)
- ・ 水引細工(伝統工芸)
- ・ はだか麦(東予地方局)
- ・ 商品開発(飲食店社長)
- ・ 魚食文化(漁協)
- ・ はだか麦お菓子(子ども食堂)
- ・ パン作り(パン販売店経営者)
- ・ パッケージデザイン(起業家)



お魚弁当: 料理研究家  
令和3年11月

3年次

- ・ 商品開発(菓子製造社長)
- ・ 水引細工(伝統工芸)
- ・ 椿コサージュ(フラワーデザイナー)
- ・ 魚食文化(漁協)
- ・ お魚弁当(料理研究家)
- ・ 商品開発(コンビニ)





## 地域と連携した普及活動等

1年次

- ・まちかど家庭科室～ふらっと～  
①小松公民館

はだか麦普及

- ・西条市高校生お魚を使った料理コンテスト
- ・えひめさんさん物語うちぬき氷プロジェクト

最優秀賞

最優秀賞

2年次

- ・まちかど家庭科室～ふらっと～  
②小松中学校  
③西条小学校 ④小松小学校  
⑤小松幼稚園

椿普及

魚食普及：学校給食



3年次

- ・まちかど家庭科室～ふらっと～  
⑥今治サッカー場 ⑦おあしす市場  
⑧糸まち ⑨小松公民館  
⑩福岡県：香椎高校 ⑪小松公民館
- ・成果発表（小松小学校）
- ・第6回地域教育発表会（西条市中央公民館）

椿普及

魚食普及：お弁当

- ・ふるさとCM大賞えひめ
- ・第9回高校生ビジネスプラン  
グランプリ

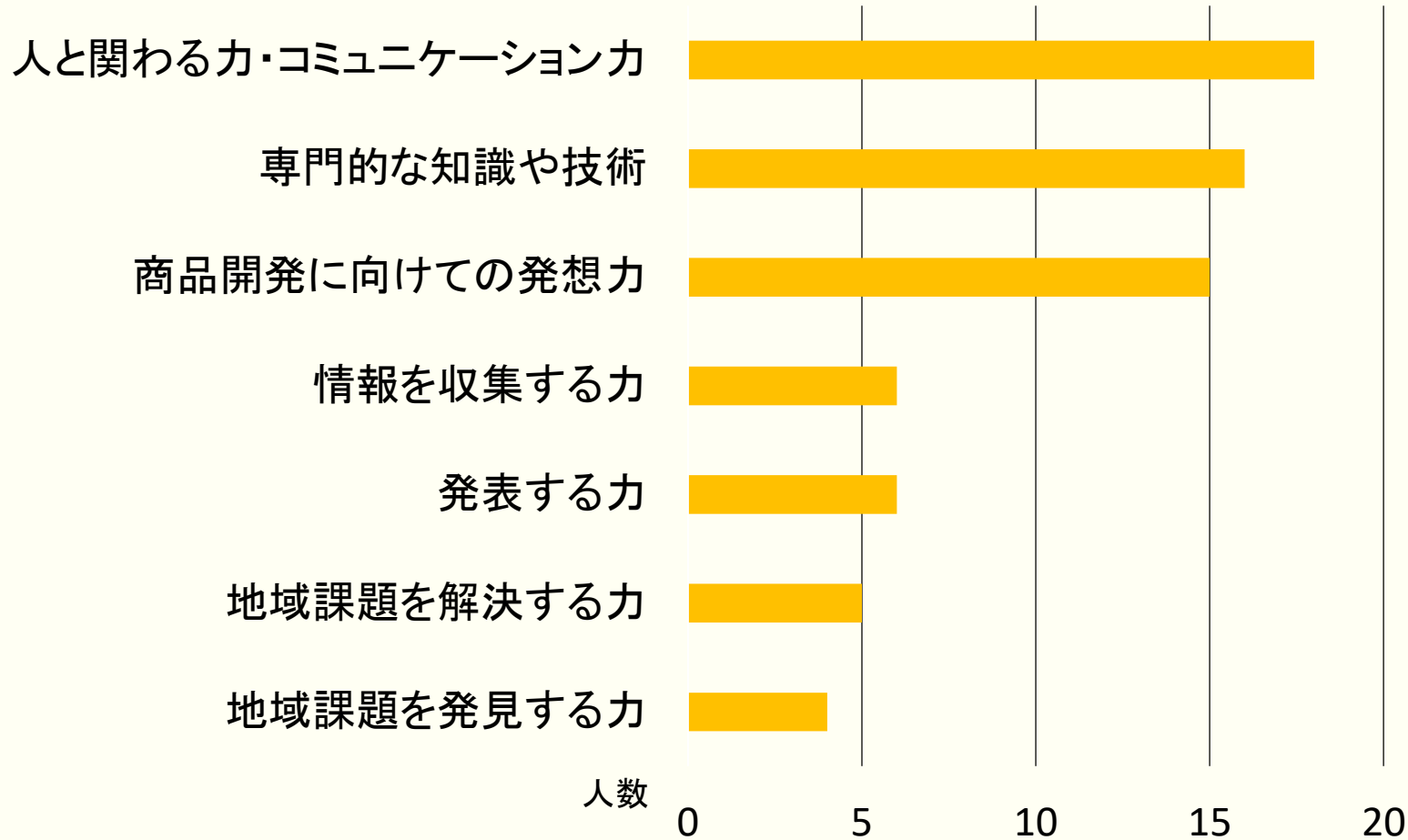
最終審査

ベスト100

## 本事業で身に付いたと思う力は？

(複数回答可)

ライフデザイン科3年31名  
令和3年12月20日実施



- ・自分自身の成長
- ・地域に支えられている気付き

- ・自己有用感
- ・行動意欲の高まり
- ・郷土愛
- ・地域貢献

地域の活性化

高校生の活躍

地域の方々からの応援